

横浜市

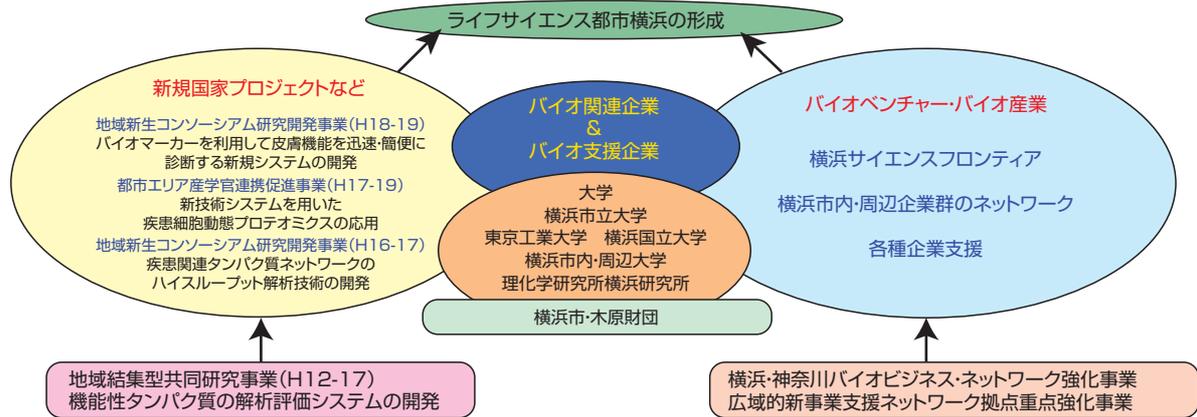
平成12年度発足
Yokohama

機能性タンパク質の解析評価システムの開発

事業総括
山本 康
研究統括
西村 善文 公立大学法人横浜市立大学
国際総合科学研究科教授
新技術エージェンツ
福島 英明

中核機関
(財)木原記念横浜生命科学振興財団
行政担当部署
横浜市経済観光局産業立地調整課バイオ担当
コア研究室
公立大学法人横浜市立大学連携大学院内

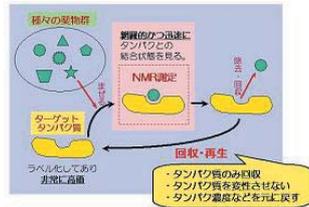
地域COEの構築への取り組み



新技術・新産業創出の取り組み

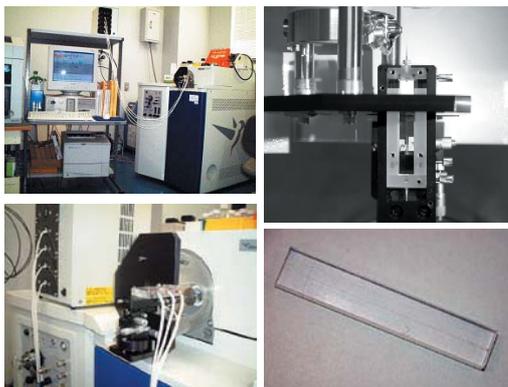
1. フロー型自動NMR装置

- ・ NMR装置に新たな機能を付加し、薬剤候補の低分子化合物とタンパク質の相互作用を網羅的かつ迅速に解析する技術を開発
- ・ タンパク質構造解析コンソーシアムの発足



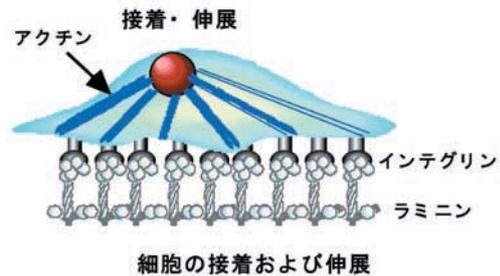
2. 「マイクロチップキャピラリー電気泳動-質量分析(μチップCE/MS)システム」

- ・ DNAに結合するような塩基性の高いタンパク質を迅速に同定(タンパク質の種類を決定)するための新実験方法を開発
- ・ 「アメリカ化学会」専門誌「Journal of Proteome Research」の「Currents」で「最近の論文におけるハイライト記事」として紹介



3. ラミニン5

- ・ 細胞接着タンパク質「ラミニン5」を95%以上の高純度で量産する技術が開発され、研究用試薬として製造販売が開始
- ・ ラミニン5は、細胞外を取り巻く基底膜を構成する物質の一つで、神経細胞や幹細胞の増殖や分化にも働きかけることが知られており、神経や皮膚の再生医療への適用が期待



4. シリマリンによる表皮角化細胞の増殖維持作用

- ・ 化粧品などへの応用商品化

